

新しい提案、WEBアプリケーションへの勤怠管理を『指紋認証』で。



導入会社プロフィール

- 人数:約20名
- 事業概要:インターネット発注システムの販売・開発・カスタマイズ提供。アプリケーションサービスプロバイダー(インターネットWeb-EDI等)・ソフトウェア開発



- 導入製品:Fingerprint SDK
- 組込み効果:『新しい優位点の確立』

『なりすましの対策を完璧にケア』

従来のWEBアプリに、指紋認証の機能を付加価値として加え、なりすましを防げる機能を実現しました。

『煩わしいユーザIDとパスワードの暗記の必要が無い』

エンドユーザ様と管理者様にとっては運用で悩むパスワード管理からの開放。指紋で代替の実現。

勤怠管理というアプリケーションには今後の新しい競争点になるのではないかと注目しています。

背景

- ユーザ様が組込みたいアプリとは?
WEBへの勤怠管理アプリケーション

- 導入目的は?

勤怠データの信頼度を高めるため。

従来のWeb版の勤怠管理システムは既に運用していたが、指紋認証を加え、幅広くエンドユーザ様のご要望に対応できるように。

採用理由

- デバイス単価が安価であるため、指紋認証という付加価値に十分な魅力があったこと。組込んでも安価でエンドユーザ様に提供できること。
- SDKの自由度が高く、通常のクライアント・サーバシステムのみならず、Webサーバ・クライアント(ブラウザ)間の認証がHTTPSベースで実装可能であったこと。
(WEBブラウザ側で指紋データ抽出・Webサーバ側のバックエンドで照合・認証を実施)

指紋認証の勤怠管理

パートタイマーに起こる勤怠管理の不正打刻

勤怠時刻に遅刻しそうなパートタイマーが
勤務先にいる友達に電話をかける。



「遅刻しそうなので、代わりに
打刻して欲しい」と頼まれ、
なりすまし打刻をする。



指紋による本人確認の
WEB勤怠管理アプリケーション

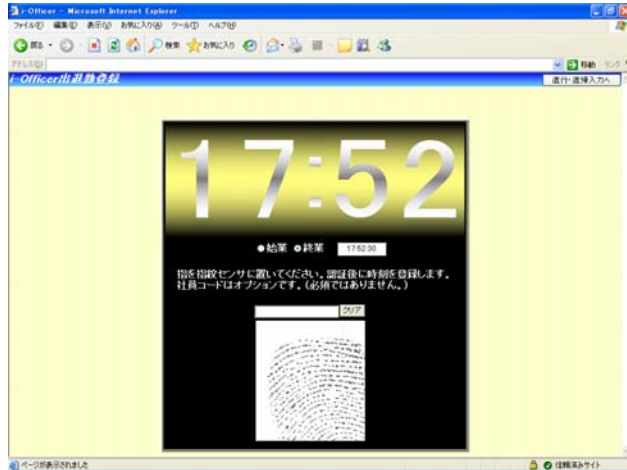
頼まれても打刻できない……



雇用者側にとっては、必要以上のコストの投入と
なっています。
そして、パートタイマーの労働意欲の低下、
なりすまし打刻がプラン以下のマンパワーの低下に
繋り売上に悪影響を及ぼしています。

本人しか打刻ができないため、
「なりすまし打刻」を防げ、雇用者側の
従来の悩みを解決します！

■Web指紋認証による出退勤登録のネットワーク概念図



出退勤の認証時画面

Webサーバ・クライアント(ブラウザ)間の認証がHTTPSベースにより、ネットワークを経由するデータは暗号化され、セキュアな環境が保たれています。
『なりすまし』『貸し借り』できない環境を実現。

